

卒後
27年目

伊藤 吾子 医師
ITO AKO

日立総合病院／副院長／乳腺甲状腺外科主任医長(2024年11月現在)

レジデント終了後、多くの人に支えられながら県北で20年乳癌診療を担ってきました。現在は加えて若手医師の教育、指導にも力を入れています。自分の意志で選択したこともあれば、予想外の出来事もありましたが、結果的には良い経験になったと思っています。私の経験から得た教訓が皆さんの参考になれば幸いです。

私は学生実習を通じて「女性であることを強みにできる外科系医師」になりたいと考えました。当時の乳癌診療は今ほど専門化しておらず、多くの病院では主に男性一般外科医が片手間に(失礼)手術をしている状態で、女性の乳腺外科医のニーズがあると考え、外科初期研修を経て卒後3年目に筑波大学乳腺内分泌外科に入局しました。

教訓①: 自分の強みを生かした進路選択をしよう。

卒後5年目に第1子を出産後、1年間休むつもりで無職(専業主婦)になりましたが、同期がチーフレジデントとしてバリバリ働いていることに焦りを感じ、予定を繰り上げて半年で大学病院に復帰しました。私としては臨床がやりたかったのですが、上司から工学系の先生方との超音波の研究への参加を提示されました。不本意だったのですが、やってみたところ意外と面白く、この時研究した「超音波エラストグラフィ」はガイドラインに載るまでになり、これに関する本の執筆や講演の依頼など、私のライフワークの1つとなりました。

教訓②: 自分の希望したことでなくても、やってみたらハマるかも。

レジデント終了後、乳癌診療が手薄であった県北の医療の質を上げたいと考え、日立総合病院への赴任を希望しました。卒後8年目、今思えばいぶん大胆な決断をしたと思います。当初は消化器外科や呼吸器外科のレジデントと手術や診療を行い、それはそれで楽しかったのですが、2010年から当科の医局のレジデントが派遣されるようになりました。2014年に「乳腺甲状腺外科」として独立した科となり、より専門的な診療を行えるようになりました。今は私を含め3-4人の医師で年間約300件の手術、約12000人の外来診療の他、乳癌検診、化学療法、緩和医療まで行っています。これだけの件数をこなすには看護師や薬剤師、技師などのコメディカル、他科医師との協力は欠かせません。医療は日々進歩しており、自分自身もまだまだ学ぶことは多いのですが、それに加えて若手医師やコメディカルに技術や知識を伝えることにとてもやりがいを感じています。

教訓③: 持続可能な良い医療を提供するために、次世代、他職種を育



てよう!

日立に赴任した半年後に第2子を出産しましたが、代わりがいなかったので産前産後の最低限の休みで復帰しました。その後シングルマザーとなり、かつ仕事も忙しく帰宅時間も遅かったので、子育てに関しては神奈川県在住の両親にサポートしてもらいました。また、縁もゆかりもなかった土地ですが、多くの友人、知人ができ何かと助けてもらいました。仕事の面でも、夜間呼び出しの対応など同僚や先輩医師にお願いすることもありましたが、それを当たり前と思わず、ちゃんとお礼を言ったり、代わりができる仕事を引き受けたりすることで、良い関係を保つことができたように思います。

ちなみに我が家の息子2人はなかなか育てにくい子達で、何度学校に呼び出されたことか…。長男の反抗期には刺し違えるか(!?)思いましたし、次男は中学2年から不登校となり通信制高校へ進みました。悩んだり、涙したことも数知れませんが、今は2人とも都内の大学に通っており、良き相談相手であり、飲み友のようでもあります。

私自身はあまり家庭を顧みず、反省点も多いのですが、これからの医師は子供の有無や男女を問わず、誰かが一方的に負担するのではなく、お互いに助け合いながら仕事もプライベートも充実すべきと考えています。

教訓④: 子育ては思いどおりにならないけれど長い目で見て…。周囲の人たちとお互いに助け合って適切なワークライフバランスを!

子供達が巣立ったタイミングでまさかの副院長就任を打診されました。悩んだのですが、両親、息子達の後押しもあり受けることにしました。自科の診療に加え、病院全体や地域医療のことも考える必要があり大変ではありますが、新しい仕事もプライベートも楽しみながら残りの医師人生を全うしようと考えています。

人生は計画どおりに進まないことも多いけれど、そこが面白い。医師としての責任と自身の幸せを両立しながら、出会いとチャンス大切に、しなやかに、したたかに!

ある日のスケジュール

6:00	起床
8:00	出勤
8:15	会議／カンファランス
9:00	手術／外来 翌日外来予習、検診読影、書類仕事
18:00-19:00	帰宅(週1-2回はヨガなど) 夕食、自分の時間
23:30	就寝

ワークライフヒストリー

